

# 肝切除術術後の合併症予測に関する研究

## 1. 研究の対象

2013年1月～2020年4月、当院で肝切除術を予定し手術を施行した方

## 2. 研究目的・方法

肝切除術は機器や技術の向上から、より安全に施行できるようになってきました。手術の適応は、一般的全身状態や肝機能評価などの基準にもとづいて決定しています。しかし、実際には手術後に合併症を起し長期入院が必要となる方もいらっしゃいます。

本研究は下記を目的として実施します。

- 1) 肝切除における合併症のリスク因子を後方視的に解析し、合併症の発症予測モデルを作成すること。
- 2) 術中の手技（胸腔ドレーン留置、硬膜外麻酔の有無、肝切離法）が術後合併症や在院日数とどのような相関があるかを後方視的に明らかにすること。

この研究は、通常の診療で得られた診療記録から必要な収集し、予測モデルを作成と検証等を行います。研究の実施に伴い、新たに情報提供をお願いすることはございません。また、患者さんの情報は個人が特定されないよう匿名化して使用し、研究責任者のもとで厳重に管理します。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、ASA-PS、フレイルスコア、癌の進行度診断・診断日・病期診断・治療開始日、手術前情報、手術施行時、周術期観察項目、長期予後等のデータ

## 4. 研究の実施体制

研究代表 済生会熊本病院 外科 部長 高森啓史  
共同研究機関 熊本大学消化器外科

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  
済生会熊本病院 外科 新田 英利 （研究責任者）  
熊本市南区近見 5-3-1 TEL：096-351-8000

以上